

## (3) 大学院学校教育研究科

## ③ 教育実習

## ア 教育実習委員会設置の趣旨（目的）及び組織

## i) 設置の趣旨（目的）及び組織

教育実習委員会は、学部及び大学院の教育実習（学部の保育実習を含む。）に関する事項について調査検討することを目的として設置されている。

## ii) 組織の構成及び構成員等

平成27年度は、学校教育専攻の各コースから選出された教授又は准教授（講師及び助教を含む。以下同じ。）各1人、教科・領域教育専攻の各コースから選出された教授又は准教授各1人、教育実践高度化専攻から選出された教授又は准教授1人、学校教育実践研究センターから選出された教員10人（10人のうち6人は特任教員）、附属幼稚園副園長、附属小・中学校副校長、教育支援課長及びその他学長が指名した者（2人）の計26人で構成した。

また、大学院における実習の責任体制を明確にするとともに効率的な運営を図るため、本委員会の下に以下の部会を設置した。

## ・ 特別支援学校教育実習専門部会

特別支援教育コースから選出（学長指名を含む。）された教育実習委員会委員2人、大学院授業科目「特別支援学校教育実習」履修者の専門セミナー担当教員のうち特別支援教育コース所属教員を除く教員8人の計10人で構成

## ・ 学校支援プロジェクト専門部会

教育実習委員会委員のうち教育実践高度化専攻から選出された委員1人、教育実習委員会委員のうち学校教育実践研究センターから選出された委員5人及び教育実践高度化専攻から選出された教授又は准教授（講師及び助教を含む。）3人の計9人で構成

さらに、専門職学位課程の教育実践高度化専攻における実習科目「学校支援フィールドワーク」の円滑な実施を図るため、以下の連絡会を設置した。

## ・ 学校支援プロジェクト連絡会

学外委員として上越市教育委員会教育総務課参事、学校教育課指導係管理指導主事、妙高市教育委員会子ども教育課参事管理・指導主事、上越市小学校長会長、上越市中学校長会長、上越市校長会教育実習担当、妙高市小学校長会長、妙高市中学校長会長の9人並びに学内委員として教育実習委員会学校支援プロジェクト専門部会委員計9人の合計18人で構成

## ・ 教職実践インターンシップ専門部会

教育実習委員会委員のうち教育実習委員長及び副委員長、小学校及び中学校教育実習専門部会長、学校教育専攻及び教科・領域教育専攻から選出された委員9人、教育実習委員会委員のうち学校教育実践研究センターから選出された委員のうち2人及び附属小・中学校副校長の計17人で構成

## イ 運営・活動の状況

## i) 委員会等の開催状況

- ・ 平成27年4月3日（金） 第1回教育実習委員会
- ・ " 4月13日（月） 第1回教育実習連絡会

- ・ 平成27年 4月15日（水） 第1回教育実習協力校（園）会議
- ・     "     5月22日（金） 第1回学校支援プロジェクト専門部会
- ・     "     5月21日（木） 第1回特別支援学校教育実習専門部会
- ・     "     6月 5日（金） 第1回学校支援プロジェクト連絡会
- ・     "     6月24日（水） 第1回学校支援プロジェクト連携協力校会議
- ・     "     6月 4日（木） 第2回学校支援プロジェクト専門部会
- ・     "     6月12日（金） 第2回教育実習委員会
- ・     "     7月17日（金） 第3回教育実習委員会
- ・     "     10月27日（火） 第4回教育実習委員会
- ・     "     12月 1日（火） 第3回学校支援プロジェクト専門部会
- ・     "     12月 2日（水） 第5回教育実習委員会
- ・     "     12月 4日（金） 第2回教育実習連絡会，第2回学校支援プロジェクト連絡会
- ・     "     12月 9日（水） 第2回教育実習協力校（園）会議
- ・ 平成28年 1月25日（月） 第6回教育実習委員会
- ・     "     2月 2日（火） 平成27年度特別支援学校教育実習連絡会
- ・     "     3月16日（水） 第7回教育実習委員会

ii) 審議された主な事項

教育実習委員会，特別支援学校教育実習専門部会，学校支援プロジェクト専門部会及び教職実践インターンシップ専門部会における主な審議事項は，以下のとおりである。

- ・ 特別支援学校教育実習の実施及び成績評価
- ・ 平成28年度特別支援学校教育実習計画の策定
- ・ 学校支援プロジェクト連携協力校の選定
- ・ 学校支援フィールドワークの実施
- ・ 授業科目「教職実践インターンシップⅠ・Ⅱ」の開設

iii) 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

委員会及び専門部会における審議に基づき，以下のことについて重点的に取り組んだ。

- ・ 特別支援学校教育実習の実施（9月～11月（10日間），23人，13校）
- ・ 実習中の危機管理体制の確認
- ・ 学校支援フィールドワークの実施（9月～12月（150時間），105人，42チーム 41校（小学校19校・中学校9校・その他1機関（上越市・妙高市），新潟県内小学校4校，中学校3校，その他1機関，県外小学校3校，県外高等学校1校
- ・ 新潟県立高校，新潟市立学校，個別の学校等へ拡充された学校支援プロジェクト連携協力校でのフィールドワークの実施
- ・ 教育職員免許取得プログラム（以下「免P」とする。）受講生の学力面への対応として，免P1年次の小学校教諭免許取得希望者を対象に小学校実習で指導できる力を補うことを目的に，補習を行った。

ウ 優れた点及び今後の検討課題等

- i) 第2回学校支援プロジェクト連絡会において，平成27年度における学校支援プロジェクトチーム及び連携協力校決定の状況から，よりマッチングに重点をおくことを主眼として協議プロセスの見直しを行った。その結果を反映し，「学校支援プロジェクトハンドブック（平成28年度版）」

を改訂・発行した。なお、今後も必要に応じて改訂していくこととしている。

- ii) 免P受講生のリメディアル教育として、4月に基礎学力の点検テストを行い、同テスト（国語，算数，理科）で水準に達しなかった学生は，7月までの期間に週1回×10回補習を行った。7月に行った確認テストで水準に達しない学生に対し，夏期休業期間に2～3日程度の夏期講習を行った。